

クラス通信

麻生本校・円山校

クラスユニック小学部

令和3年9月 第7号

2021.9.14発行

保護者の皆様へ

副理事長・校医

福島 拓

クラス通信 9月号をお届け致します。今回の特集は、札幌の中高一貫校の難易度をまとめました。私立中学ではここ数年の傾向は変わらず、北嶺・立命館SP・札幌日大SAが人気・難易度で一線を画しており、それを立命館一貫・札幌日大普通・札幌光星が追っている構図です。また、公立中学はやはり開成中学がさらに人気を集めています。さて、四谷大塚の偏差値と道コンの偏差値に乖離が見られるのがわかるかと思いますが、これは、それぞれの偏差値の意味が異なることと問題難易度が異なるからです。道コンの偏差値はあくまで標準問題に対する道内合格者の平均偏差値、四谷大塚の偏差値は入試問題における合格率80%の偏差値(大学受験におけるA判定)です。高校受験と違い、中学受験では各中学の入試問題難易度に違いがあるため、標準問題での評価が難しくなります(標準問題が解けるからといって入試問題が解けるわけではない)。北海道内における学力位置を知るには道コン偏差値は参考になりますが、入試合格判定には四谷大塚の偏差値も重要です。

中学入試について

文責:円山校井尾 敦

暑かった夏もここへきてようやく落ち着いた日々となりました。しかし暑いことはエネルギー、中学受験を目指す皆さんは、学校の夏休み期間もそれなりに、暑さに負けず頑張ったのではないのでしょうか。

さて、今回は来春早々に始まる中学入試で、この秋からより具体的に知っておきたいこと、「一体どの中学がどの位の力(学力レベル)を備えたら受験に間に合うのか、準備として必要なのか」、受験したい中学校の状況を知って、今だからこそ十分準備ができることと思います。

下記の一覧表を参考にして下さい。

☆受験をして入学する中学校(札幌近郊)のSS目安

中学校名	道コン SS	四谷大塚 SS
北嶺中学校	67.7	55.0
札幌日本大学中学校(SA)	67.7	56.0
立命館慶祥中学校(SP)	64.9	57.0
市立札幌開成中等教育学校	59.4	50.0
北海道教育大附属札幌中学校	63.0	50.0
札幌日本大学中学校(A)	58.9	49.0
立命館慶祥中学校(一貫)	58.3	48.0
札幌大谷中学校(英数選抜・医進選抜)	58.0	40.0
札幌光星中学校	57.0	47.0
藤女子中学校	50.7	36.0
北星学園女子中学校	46.5	36.0
札幌聖心女子学院中学校	46.5	36.0

<裏面に続く>

☆前出のSS表が受験校のすべてではありません



あくまで偏差値は目安です。この偏差値をもった生徒が入学してその後の6年間、勉強の伸びや受験大学への実際に必ずしも連動しているわけではないからです。オープンスクールなどで学校の様子を見て、校風がお子さまと合うと感じられる学校があれば受験をお勧めします。

入学してから学校によっては何度か定期試験の結果などでクラスチェンジがあることも入学時（受験時）大事なポイントです。学内のレベルの中で関門が用意されているということです。入学してからの努力で大学受験までに力をつけていくよう、どの学校も工夫を凝らした授業展開をしています。意外と思われるかもしれませんが、トップ入学者がトップで卒業することはほぼないのが実情のようです。過去にも、中学受験時何とかやっと入学できたというような生徒が、卒業時には上位にいて、当時の第一志望大学に合格を果たしたという事例は当校でも多々あります。中学入試がゴールではなく、継続した努力がやはり必要であると言えます。

一方中学受験を目指す場合、入試問題には、学校の学習だけでは解けない問題もあり、「中学受験」向けに特化した受験準備が必須です。いわゆる「私立中学受験型」の学習です。受験準備としては、最低限2年は必要です。結果として公立の中学に進むとしても、**考える力を養い、受験準備のために早めに学習を進めておくことは、小4、小5年生という人生の中でも一番能力の発達する年代には意識向上や能力アップにつながり良い結果をもたらします。**

当校での学習も日常学習としてこの「受験も意識した学習」を推進しています。

小1～小3生:今期から採用した新テキスト「ウィンパス」について。小4～小6生:「予習ナビ」の活用法



麻生小
中
学
部
担
当
兵
藤

○麻生小学部では低学年に向けた使用教材を変更いたしました。従来使用していた教材データベース「eトレ」を演習時の補助教材とし、通年教材として「ウィンパス」を使用します。

以前よりご要望が多かった学校内容準拠である点、4年生以降の四谷テキストに繋がる基礎固めに最適な点が本テキストの特徴となります。学校進度に合わせた内容の復習および演習を授業で行いますので、ご家庭では付属の“ワークブック”にて対応単元を実施してください。

一冊のテキストを使用することで授業時に実施した内容や家庭学習の把握もし易くなります。又国語の読解問題の比重を大きくすることで、今後必要になってくる“問題を読み解く力”の強化に努めていきたいと考えています。ご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

○小4～6年生で四谷大塚「予習シリーズ」を学習している皆さん、映像解説授業「予習ナビ」は活用できていますか？各学年ともに夏以降は重要かつ難しい単元が続いていきます。特に6年生は最後の追い込みです！苦手単元の復習や新規単元の予習など、自宅学習のサポートに最適なwebツールになっています。理解度をアップさせたい時や解き方を確認したい時など、積極的に利用していきましょう！使ってみたいという方は各校舎担当までご相談ください。

麻生本校:001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校 :064-9820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755



9月、10月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。

麻生本校 小中学部



円山校 小学部

